

7月14日付
編集者:佐藤美咲

プロの音楽家を直撃

7月14日の第90回こども定期演奏会「鍵盤楽器のエポック」の演奏終了後、演奏で指揮を担当した鈴木さんとピアノを担当した牛田さんにお話を伺いました。



当日のコンサートの様子
写真中央で指揮をする鈴木さん

オーケストラとは

まず、オーケストラとは主に弦楽器と管楽器、そして打楽器などで構成される大きな楽団の言いいます。サントリーホールの企画制作部の菅原さんは「楽器によって人数が違い、大きい楽器の方が人数が少ないです。なぜなら、大きくなるにつれ楽器の音量も大きくなるからです。また、人数が減る時は必ず2人ずつ減っていきます。なぜなら、1つの譜面台を2人で使うからです」とおっしゃっていました。また、シンバルなどの金属の楽器は音が大きいなどということも教えてくださりました。

オーケストラの

プロに聞く



取材をしている様子 手前右が鈴木さん、左奥が牛田さん

▽プロになったきっかけは？

鈴木さんと牛田さんにプロになつたきっかけを尋ねてみました。

鈴木さん「きっかけというのは特にはないです。親が音楽家だったため影響を受けたのだと思います。」

牛田さん「12歳の頃からやっていたので、自然となった感じですね。特に大きなきっかけはないです。」意外にも、きっかけはないということでした。

▽今までで一番成功した曲は？

つぎに、一番上手い曲を尋ねてみました。

鈴木さん「特に一番はないです。」

『失敗した』と思うことは少ないですが、これはこうするべきだったと思うこともあります。」

牛田さん「上手くいったところもあればいかなかったところもあります。人から刺激を受けたとき、良い後味になります。」
お二人とも特に一番はないそうです。

▽他に演奏したい楽器は？

最後は、お二人にオーケストラの楽器で他に演奏してみたい楽器を尋ねました。

鈴木さん「ドラムをやりたいです。昔練習をしたりしていました。クラリネットなどはまだあまりよく知らないので、演奏してみたいと思っています。」

牛田さん「チェロを弾いてみたいです。弦楽器などに興味があります。」今回の取材をして、私は仕事のオンとオフでこんなにも印象が変わることが知れてよかったです。

鈴木さん牛田さん、そしてサントリーホールの皆様、今回は貴重な体験をありがとうございました。